

## 環境市民活動 助成金セミナー 開催速報



会場全景

- 開催日……2015年11月1日(日)
- 時間……14:00～17:30
- 会場……日本陶磁器センター 4F 多目的ホール  
愛知県名古屋市東区代官町 39-18
- 主催……NPO法人地域の未来・志援センター/  
一般財団法人セブン-イレブン記念財団
- 後援……愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、なごや  
環境大学、環境省中部地方環境事務所
- 協力……環境省中部環境パートナーシップオフィス
- 参加者数(目標数)……31名(50名)

### < 当日プログラム >

時間	内容	登壇者
14:00	セミナー開会	
14:05-14:10	主催団体挨拶・主旨説明	地域の未来・志援センター 理事 萩原喜之 (一財)セブン-イレブン記念財団 野崎佳子
14:10-15:10	基調報告 「自立のための助成金活用報告」	NPO法人日本森林ボランティア協会 事務局長 山本博様
15:10-15:20	休憩	
15:20-17:00	助成制度紹介	
	1.「地球環境基金」	(独法)環境再生保全機構 地球環境基金部部長 草薙智紀様
	2.「河川基金」	(公財)河川財団 基金事業部 上席研究員 矢野恭治様
	質疑応答(10分)	
	3.「2016年度環境市民活動助成」	(一財)セブン-イレブン記念財団 野崎佳子
	4.「カワサポ」	(一社)ClearWaterProject 伊藤匠様
	質疑応答(10分)	
17:00-17:25	審査ポイントレクチャー	進行:地域の未来・志援センター 萩原喜之
17:25-17:30	閉会挨拶	地域の未来・志援センター 理事長 竹内ゆみ子
17:30-	セミナー閉会 個別相談会(17:40～18:30)	

## < プログラム進行の様子 >

今回の助成金セミナーは、昨年度の助成金セミナーアンケートで「セミナーで取り扱ってほしい資金調達方法」を尋ねたところ、「自主事業収入」が最も回答数が多かったこともあり、これまで同様の「助成団体と環境市民団体のマッチング」というテーマに加え、「助成金等を活用した事業自立」というポイントを置きプログラムを組み立てました。

セミナー当日は、愛知、三重、岐阜、静岡、長野、石川の各県から計 31 名の方々が参加され、うち、助成申請を採択された経験のある方は 14 名、申請経験はあるが採択経験のない方が 5 名、申請経験のない方も 12 名お越しになりました。

## ◆主催団体挨拶・主旨説明

開会に先立ち、当法人理事萩原喜之と、(一財)セブン-イレブン記念財団野崎佳子氏より開会の挨拶がなされました。

萩原理事からは、本セミナーは事務局が主体となって作り上げたセミナーであり、彼らの企画を楽しんでもらうとともに、アンケート等を通じてフィードバックを行い、参加者を含めた皆で共に作り上げるセミナーにしていきたい旨などが、野崎氏からは、このセミナーの場が参加された市民活動団体の皆様が自団体に適した助成団体を見つけ、活動が広がっていくきっかけとなることを期待する旨が述べられました。



↑【開会挨拶】地域の未来・志援センター 萩原理事



↑【開会挨拶】(一財)セブン-イレブン記念財団 野崎氏

## ◆基調報告

次に、2010 年度より 3 年間 (一財)セブン-イレブン記念財団「自立事業助成」を受け、事業の自立に取り組まれ、現在は専従職員を置く体制を整えられている NPO 法人日本森林ボランティア協会の理事兼事務局長の山本博様より、活動の紹介や現在の体制になるまでの道のりについてご報告していただきました。

団体設立時の周囲から理解されない状態から、今年年間 100 名ほどのボランティアが活動に参加され、地元の森林所有者、企業 CSR、行政などから委託業務の話や問い合わせが来るようになるまでの道のりは、多くの参加者に事業の自立についての気づきを与えることができたようでした。アンケートでは「自立を目指しながらボランティアを育て、増やしていることが参考になった」「地道な活動を続けることで、地域や周囲の理解が得られる」などの声が聞かれ



↑【基調報告】NPO 法人日本森林ボランティア協会 山本様

ました。

報告後の質疑応答では、参加者から団体の現在の予算額やその内訳を尋ねる質問があり、山本様が包み隠さず報告するといった場面も見られました。

## ◆助成制度説明

10 分間の休憩をはさんだ後、今回お招きした 4 助成団体の助成担当者の皆様による助成制度紹介が行われました。



(独法) 環境再生保全機構 草薙様からは、「地球環境基金」の制度の特徴として、どんな団体のどんな事業、どんな経費が助成対象となるのかについて詳しくご紹介いただきました。特に独自の若手職員向けの支援メニューである「若手プロジェクトリーダー助成」については、参加者からの質問もあり、丁寧にご説明いただきました。

←【制度説明】(独法) 環境再生保全機構

(公財) 河川財団 矢野様からは、今年度から助成制度の中身が大きく変わったこともあり、これまでの「河川整備基金」と今年度からの「河川基金」の変更点のご説明を中心にお話いただきました。また、申請事業の評価項目についてもお話しいただき、実際の申請時に役立つ知識をご提示いただきました。



【制度説明】(公財) 河川財団→



(一財) セブン-イレブン記念財団 野崎氏からは、申請を検討する団体が気になる昨年度の助成申請の状況や、助成制度の昨年との変更点、また、申請書のフォーマットを用いて、実際に申請書を記入の際に気を付けるポイントや、留意点などについてお話しいただきました。

←【制度説明】(一財) セブン-イレブン記念財団

(一社) ClearWaterProject 伊藤様からは、「カワサポ」という市民活動を支援するクラウドファンディングの仕組みについての説明はもちろん、環境市民活動を支援する目的や、資金調達支援を通じてどういった環境団体になってほしいと考えているのかといった点にまで話を展開していただき、クラウドファンディングを知らなかった方にも分かりやすくその仕組みを説明してくださいました。

【制度説明】(一社) ClearWaterProject→



前後半の 2 回に分けて実施した質疑応答では、各助成制度に対して、参加者が行おうとする事業が助

成要件に当てはまるのかを尋ねる質問が多く寄せられていました。

### ◆審査ポイントレクチャー

今回のセミナーでは、参加者が気になっているであろう助成申請の際の審査ポイントについて、Q&A方式で助成団体に直接尋ね、教えてもらう審査ポイントレクチャーの時間を設定しました。

会場からは、助成金として認められる経費、審査の際の重視ポイントなどについての質問が挙がり、各助成団体から返答されました。

同じ質問を4つの助成団体に尋ね、それぞれにお答えいただくことで、各助成団体の考え方の違いが明確になり、参加者は自団体の事業に適した助成団体を見つける参考になったようでした。



↑【審査ポイントレクチャーの様子】

### ◆閉会挨拶

当法人の竹内理事長による閉会挨拶の前に、当日スタッフとして参加したインターン生2名にセミナーで印象に残ったことを発表してもらいました。インターン生からは「助成団体の話を聞くことで、助成金は市民団体のためのものではなく、その活動の先にいる市民のためのものなのだと理解することができた」という感想が述べられ、本セミナーの意義を上手に言葉にしてくれました。

その後、竹内理事長による閉会挨拶をもって、本セミナーは終了しました。

### ◆個別相談会

セミナー終了後は、会場レイアウトを変更して、個別相談会を実施しました。登壇いただいた助成団体のブースのほか、当法人理事長による事業自立相談のブースも設け、参加者各自の個別具体的な課題に対して相談が行われていました。



↑【個別相談会の様子】

以上